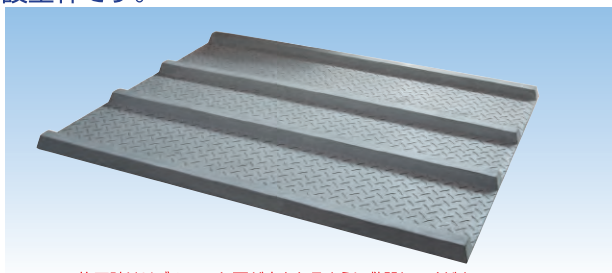


JSフォーム

NETIS掲載期間終了技術(QS-980217-VE)
農業農村整備民間技術情報データベース
(NNTD)登録No.1214

KCフォームの特徴を生かしながら、鉄筋入りのリブ構造により、大型側溝への適用を可能にしたGRC製埋設型枠です。



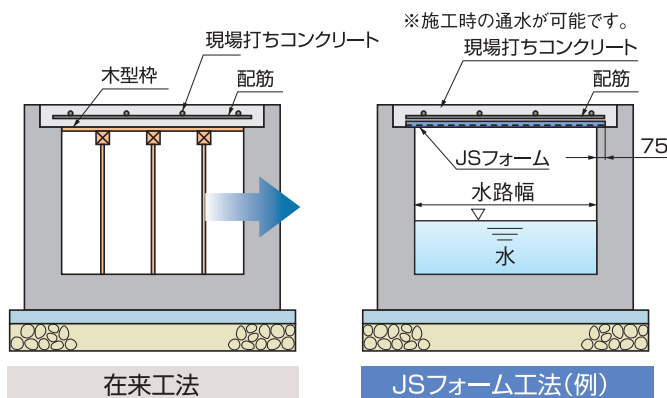
※施工時はリブのついた面が上となるように敷設してください。
製品に直接乗らないでください。

建設物価掲載製品

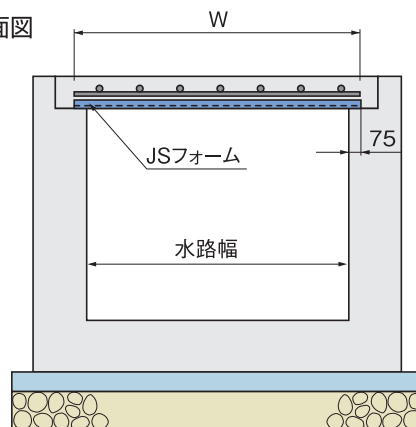
特長

- 1.現場施工を合理化
ノーサポート、解体作業の解消、残材発生の解消。
- 2.構造躯体の耐久性向上
鉄筋防蝕効果。
- 3.コンパネ不使用による森林資源保護
- 4.腐食による捨型枠脱落問題の解消
- 5.ダイヤモンドカッターによる現場加工が容易

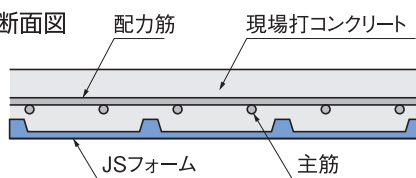
JSフォームを置くだけで施工可能



■打設断面図



■L方向打設断面図



◎リブ部を上向きにして施工します。

■施工手順

①施工前



②JSフォーム設置



③配筋



④コンクリート打設



⑤仕上げ



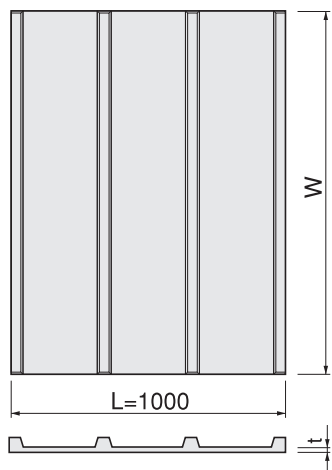
⑥施工後



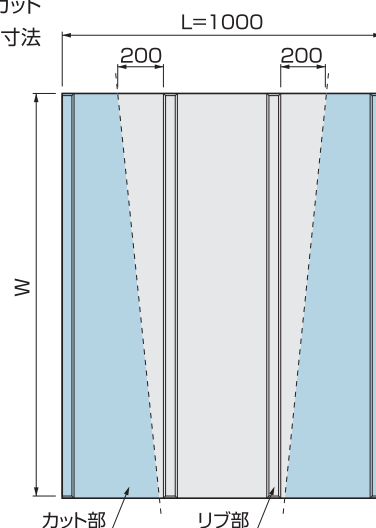
■ 基本寸法

■ 形状・寸法

水路方向
↔



※右図に示すようにJSフォームをカットする場合リブ部よりのとび出しの寸法は、200mmを最大とします。



■ リブ構造部分

製品タイプ	A型 (水路幅600~1000)	B型 (水路幅1000~1200)	C型 (水路幅1100~1500)
リブ断面形状	 D10鉄筋	 D13鉄筋	 D13鉄筋

■ 寸法・重量表

製品タイプ	呼称	※W	参考重量(kg)	水路幅	参考歩掛(人/㎡)
A型	A600用	750	23.3	~ 600	0.014
	A700用	850	26.4	~ 700	
	A800用	950	29.5	~ 800	
	A900用	1050	32.6	~ 900	
	A1000用	1150	35.7	~1000	
B型	B1000用	1150	43.7	~1000	0.027
	B1100用	1250	47.5	~1100	
	B1200用	1350	51.3	~1200	
C型	C1100用	1250	51.3	~1100	0.027
	C1200用	1350	55.4	~1200	
	C1300用	1450	59.5	~1300	
	C1400用	1550	63.6	~1400	
	C1500用	1650	67.7	~1500	

●上表は、蓋厚180mm以下の場合を示したものです。
その他の場合については構造、現場打ちコンクリート許容最大厚さを算定いたします。
※Wは敷設時の両側の掛かりしろをそれぞれ75mmとした場合です。

■ 蓋厚・水路幅によるJSフォームの適用タイプ一覧表

蓋厚	水路幅	600	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500
110	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
120	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
130	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
140	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
150	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
160	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
170	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
180	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
190	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型	
200	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型	
210	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型	
220	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型		
230	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型			
240	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型			
250	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型			
260	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型			
270	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型				
280	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型				
290	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型				
300	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型				

の範囲は別途ご相談ください。

■ JSフォームアングル工法

特 長

1. 大型水路対応

水路幅が1500~2500mmまでの大型水路の暗渠化が簡単に行えます。

2. 簡単施工

等辺山形鋼とJSフォーム、鉄筋を設置後にコンクリートを打設するだけで暗渠型側溝となります。

3. バリアフリー

バリアフリーの障害となる古い水路を暗渠化することで安全性が向上します。

4. ローコスト

既存の水路をそのまま利用するため、建設廃材の発生も最小限で側溝入れ替えよりも経済的です。

▼配筋途中写真



▼通水中でも施工可能



▼点検口設置状況

